

CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(9月22日時点)

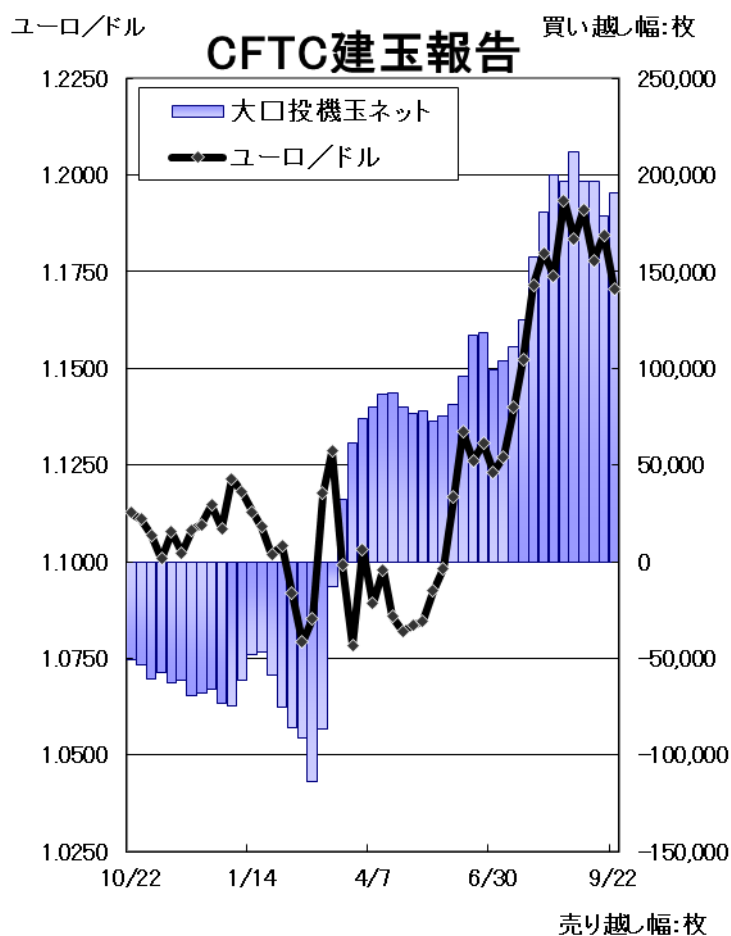
米商品先物取引委員会(CFTC)が25日に発表した建玉報告によると、22日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の買越幅は2万9581枚となり、前週比6692枚拡大。期間中に、投機筋は売り買い共にポジションを増やした。

期間中の円(対ドル)は上伸。16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)声明発表では、物価上昇率が「当面の間2%をやや上回る軌道に乗るまで」政策金利を据え置くと声明文が変更された他、その後のパウエルFRB議長の記者会見では「国債購入は現在のペースが適切だが、必要であれば調整できる」と述べるなど、目先の追加緩和に一定の距離をとった格好となったことで相場への影響は限られた。その後、欧州での新型コロナ感染再拡大懸念、米追加経済対策を巡る協議難航観測によって、ドル売り円買いの動きが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機筋の買越幅は19万0822枚となり、前週比1万2246枚拡大。

欧州全土での新型コロナウイルス感染者急増を背景に、ロックダウン再導入への警戒感が強まり、先行きの景気に対する懸念が広がったことで、ユーロ売りドル買いが進行。また、欧州中銀(ECB)のパネッタ専務理事が「景気刺激策は多過ぎる方が望ましい」、「ユーロ高はインフレの重しとなる望ましくない要因」と指摘。市場ではマイナス金利の深掘りを含む追加緩和観測が高まっていることも、圧迫材料となった。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
05/26	107.54	34,607	1.0982	75,222
06/02	108.66	32,579	1.1167	81,240
06/09	107.74	17,462	1.1336	95,649
06/16	107.29	22,110	1.1262	117,132
06/23	106.53	27,458	1.1306	118,448
06/30	107.95	23,861	1.1232	98,955
07/07	107.52	16,812	1.1271	103,597
07/14	107.24	18,326	1.1399	110,912
07/21	106.79	19,307	1.1523	125,047
07/28	105.08	28,507	1.1716	157,559
08/04	105.73	31,429	1.1798	180,648
08/11	106.49	27,016	1.1738	199,751
08/18	105.39	20,584	1.1934	196,943
08/25	106.39	23,616	1.1835	211,752
09/01	105.95	29,604	1.1910	196,747
09/08	106.01	21,742	1.1779	196,814
09/15	105.43	22,889	1.1845	178,576
09/22	104.91	29,581	1.1706	190,822
前週比	-0.52	+6,692	-0.0139	+12,246



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員
当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266(平日 8:30~17:00)、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。